

変えよう！ 杉並区政

杉並区議会議員 杉並わくわく会議代表

松尾 ゆり



予算に
反対する
意見

杉一小移転案発表、阿佐ヶ谷の再開発が始まる?!

3月16日に閉会した第1回定例会。2017年度予算には以下のように区政の問題点を指摘して反対しました(以下は意見の要旨)。

①保育園

ゼロにならない本当の待機児童

区のカウントに入らない「隠れ待機児童」は今年も1000人近くにのぼると予測される。待機児童解消を政治的なPRに使うのではなく、淡々と着々と整備を進めるべき。

「地域偏在」の結果が出た

井草、久我山などの公園をつぶして保育園を整備したが、当初から指摘されていたとおり、実際に地域偏在が明らかになった(下図参照)。

保育園に「なんでもあり」は困る

小規模保育園の運営者に電通の「鬼十則」をしかけている会社や、他地域で突然廃園になった会社が入っており心配。定員数さえ合えばいいというものではない。

民営化の根拠がおかしい

区立保育園には国の補助金が出ないというが、その一部は特別区財政調整交付金に含まれてい



る。また、人件費削減のためというのがその何倍も委託費が増えており節約にはならない。

同じ認可保育園でも杉並区の保育士加算は区立のほうが多くに保育の質が高い。民営化は進めるべきではない。

②杉一小移転と阿佐ヶ谷駅前開発

河北病院の移転に伴う杉一小移転で駅前に高層ビル案。拙速な決定には反対(詳細は裏面に掲載)。

③高円寺小中一貫校

連日住民による抗議のスタンディングが行われているが、区担当者が現場に行かず建設会社に丸投げしており無責任。校舎の設計の基礎となるボーリング調査報告書にも誤りがあった。区は住民と誠意をもって話し合うべき。

総工費75億円のうち補助金は約1割だけ。経費を削減するためにも校舎の規模は見直すべき。

④児童館

区は児童館をすべて廃止する計画だが、他方で学童クラブ待機者のために来年度からランドセル来館(家に帰らず学校から直接児童館に行く)を全館で始める。児童館がたくさんあるからこのような緊急対応ができる。児童館に感謝して廃止計画は見直すべき。

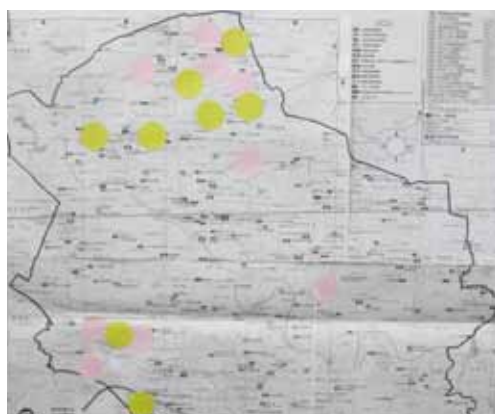
亀井さんの言葉

森友学園の問題や南スーダン派遣の自衛隊日報の隠蔽、そして共謀罪など、政治がひどすぎる、と皆さん思っているんじゃないかと思います。

亀井静香さん(衆議院議員)によると「次の総選挙は自民党が負ける番」なのだそうです。しかし「いまの民進党では勝てない。政権奪取する気概がないから」とも。

このお話は昨年11月に行われたパネルディスカッションで聞いたものです。パネラーとして、舟山康江さん(昨年参議院選挙「東北の乱」山形選挙区で当選)、玉木雄一郎さん(衆議院議員。民進党代表選挙に出馬した)、山内末子さん(沖縄県議会議員)らも同席する中、亀井さんは「地域社会の底辺、根っこ結びついていく、そうした政党をつくる必要がある。あなた方若い政治家にかかっている」と激励します。玉木さんも「トランプ勝利はグローバルリズムに対する田舎の反乱」と発言、都市の富裕層や大企業のための世の中ではなく、地方、農村が生きていける政治にしなければと話は盛り上がりました。

政党を超えて心ある政治家と地方、根っこの私たちが結びつき政治を変えていきたいですね。本当に!



私立で2歳児、公立で2・3歳児に空きのある園(3/1時点)は井草と久我山・高井戸に偏っている

杉一小はどうなる？ けやきの森は？

～学校改築と阿佐ヶ谷のまちづくり～



移転案が浮上した杉一小

杉並区はJR阿佐ヶ谷駅前の杉並第一小学校の改築を予定しています。阿佐ヶ谷地域区民センター、産業商工会館との複合ビルにする計画(A案)を確定、2017年度から着手する予定でした。

ところが、昨年夏に近隣の河北総合病院が通称「けやき屋敷」に移転する計画があることが判明。区は杉一小を病院跡地に移転する計画(B案)に急きょかじを切りました。

3月には2回の説明会が開かれ、区は5月にも「B案」に確定するとしています。

杉一小は移転でいいのか

突如降ってわいた新しい計画に、地域では当惑の声が上がっています。説明会では、

「これまで1年半話し合ってA案をまとめてきた。B案に誘導するのではなく公平に話してほしい」

「杉一小の教育環境をどう考えるのか。移転のときには校舎は築70年になる。桃二小は50年で建て替えているのに」

「住宅地に移転するというが、静かな環境に移転した区内小学校は近隣からの苦情で困っていると聞く」

「移転先は土地が低くハザードマップで浸水する地域となっている」



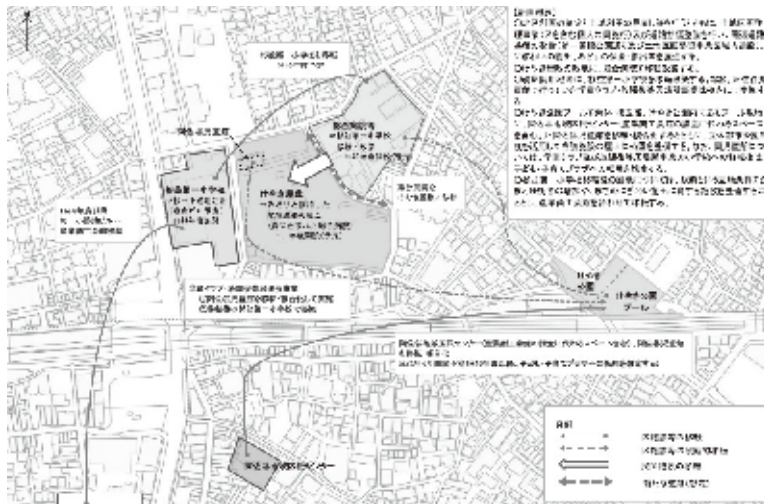
けやきプールを廃止し跡地は区民センターに？

「病院跡地に学校が移転すると医療廃棄物など土壌汚染が心配」などの意見が出ました。

けやき屋敷のみどりを残して

病院が移転する予定の「けやき屋敷」は阿佐ヶ谷の貴重な森を有しています。民間の土地ですが、伐採されるのを防げないかとの意見も出されました。区は「伐ってもまた木を植えます」とのんきなことを言っていますが、伐った木が戻ることはありません。

拙速に進めるのではなく、時間をかけて住民と区が話し合い、納得できる案を練り上げてほしいと思います。このままB案を強行すれば、駅前開発優先のまちづくりとなり、またも区政への不信感が残ることになります。



杉並区が提案している「B案」

- ①河北病院→けやき屋敷へ(2025年完成予定)
- ②杉一小→河北病院跡地へ(2028年完成予定)
- ③杉一小跡地にビル建設(民間と共同。産業商工会館を移転。2032年完成予定)
- ④阿佐ヶ谷地域区民センター→けやきプール解体・跡地へ(2022年完成予定)
- ⑤産業商工会館跡地活用方法未定

杉並区の地域経済はどくなる

2017年度に区は「産業振興計画」改定のための検討に入るとのことです。そこで杉並区の産業政策について予算特別委員会で質疑しました。(以下は質疑要旨。答弁は区産業振興センター次長。)

「杉並の産業予算は23区最下位」

松尾 杉並区の商工費の状況は。また他区と比べてどうか。

答弁 来年度予算では13億6200万円余。平成27年度当初予算では歳出総額の0.6%で世田谷、中野と並んで最下位。

「まちづくり計画のようだ」

松尾 現在の産業振興計画はいかがかと思うところが多い。まず、5つの「目標」がすべて「〜するまち」で、まちづくり計画のようだ。まちづくりと産業振興は不可分とはいえず、産業振興計画は産業が主語でなければ。

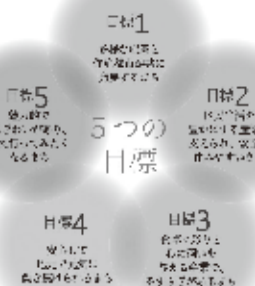
「工業の章がみあたらない」

松尾 また、商業、農業、観光の章はあるが、工業の章がみあたらない。杉並区では第二次産業のウエイトが小さいのは事実だが、次期の産業振興計画には1章を割くべきと考える。

「商店会の事務費補助を」

松尾 前回の産業実態調査で「商店街活性化に必要な取り組み」として、

産業振興計画の「5つの目標」



商店、消費者が共通して上位に挙げた答えは。

答弁 空き店舗の解消、不足している業種を補う、イベント等の開催。

松尾 それらを計画に盛り込むべき。また、商店会は補助金ひとつもらうにも多くの書類を整えなければならず、事務が大変負担とうかがった。商店会の事務費の補助を検討していただきたい。

答弁 そうした声は届いている。要望としてうかがう。

「区役所ロビーで物産の展示を」

松尾 比較的簡単にできる製造業支援として、他区の区役所ロビーなどでは、地域の特産品や工芸品などの展示が行われている。杉並区役所では他地域のものを売っているが、肝心の区内産業の紹介がない。今後、展示や物販などを検討してはどうか。

答弁 今後の計画改定や産業団体の意見を聞きながらできるところがあれば検討していきたい。